

# 「(一社) 市民連帯経済つながるかながわ」 がスタート

神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会 理事長 木村 満里子

## ◆創立の経過

生活クラブは50年以上にわたり、人間が人間らしく生きられる社会をめざし、地域で多様な主体を創出しながら、マルチステークホルダー型の運営と問題解決をすすめてきました。その主体の一つが「ワーカーズ・コレクティブ」です。

ワーカーズ・コレクティブは1982年に神奈川で誕生以来、生活クラブの組合員が中心となって生活に必要なとされる事業を起こし、まちづくりをすすめ40年以上が経過しました。

この実践が現代社会に必要な働き方として評価され、2022年10月「労働者協同組合法」が施行されました。社会的な認知と共に「協同労働」がクローズアップされたことを契機に「ワーカーズ・コレクティブ」の働き方を地域に広げ、社会的連帯経済を推進したいと、生活クラブ生協神奈川、(特非)ワーカーズ・コレクティブ協会と共に協議が始まったのは約3年前のことです。

2021年7月に「神奈川・ワーカーズ・コレクティブ運動推進協議会」を設置し、「ワーカーズ・コレクティブ(協同労働)を真ん中に置く地域社会づくりに向けた理念と「私たちが見出す共有ビジョン」を策定しました。

## ◆社会状況の変化による問題意識から

近年の社会はめまぐるしく変化し、グローバル化がすすみ経済効率優先のなかで富はひと握りの人が占めており、格差貧困がすすみ人と人の関係性も薄れ孤立や分断が大きく広がりました。

2020年初頭から蔓延したコロナ禍でさらに人と人の関係性は希薄になり、お互いを思いやり、支えあって暮らすことが困難な時代になっています。

すべての人の命をつなぐこと、生活すること、働くことが一人ひとりの喜びや地域の豊かさにつながる社会への転換は待たなしの共通課題であるとの認識を一致させ、3者で描いた理念と共有ビジョンの実現に向けて、この間具体的な準備をすすめてきました。

## ◆各セクションの基本機能

この新たな組織は3つのセクションを設置し、有機的な関係性の中で目的を遂行します。

### ①支援セクション

起業や働き方、講師派遣・見学・取材、ファイナンス等多様な相談窓口をはじめ、人材を育成するワーカーズ・コレクティブスクール、業種別会議、各種プロジェクト等を設置します。また、人材バンクや技能登録バンクも機能させ、働く人を増やし応援するしくみもつくります。

### ②ネットワークセクション

この組織の肝になる機能です。非営利・協同の力とネットワークで地域を豊かにする活動を広げることを目的に活動します。地域のワーカーズ・コレクティブが集まる連携会議はワーカーズ・コレクティブの連帯組織として地域づくりや社会が豊かになる共通資本の充実をテーマとします。

「まちづくり会議」を5つの地域生協エリア単位で開催し、まちづくりビジョン構想の企画調整やアソシエーションの創出、ワーカーズ・コレクティブの起業や継続支援等を行います。

この組織を誕生させることになった目的の一つである、ワーカーズ・コレクティブやアソシエーションを多様に創出するための後押しとなる「生活クラブまちづくり基金」を創出します。この基金の審査委員会を設置し、その管理と運営を担います。これは、地域の問題解決の当事者を身近に引き寄せ、共にまちづくりを推進していく関係性を重層化していくことにつながります。また、日ごろから実践していることを政策につなげるために政策提言や調査研究をすすめます。

### ③事業セクション

「共に働く・暮らす運動」を生活クラブ、ワーカーズ・コレクティブリーダーと共有し活動や事業につなげる機能を強化します。当面は、(特非)ワーカーズ・コレクティブ協会の事業を継承しますが、今後も社会連帯経済の構築に必要な地域ニーズに対応した事業を自治体や市民との共同で推進します。ネットワークセクションとの連携は重要で、地域単位でのまちづくりに生かせるように情報の共有から行動を共にする人たちの発掘をめざします。

## ◆今後の展望

この組織は正会員と賛助会員で形成するため、加入の働きかけを急ピッチですすめています。

基本的には6月中に加入書類を提出していただき、2024年7月20日の「(一社)市民連帯経済つながるかながわ(仮称)」設立総会では大ぜいのワーカーズ・コレクティブをはじめ地域の意志ある諸団体が参画して力を結集していくことを展望しています。

今、一人ひとりの参加と責任による市民社会の構築が求められています。誰かにお任せするのではなく自らが共感する人たちを増やし「おおぜいのわたし」となって地域を自治し、「誰かを犠牲にしない」「誰も取り残さない」地域社会から気候危機等の地球規模の課題にも取り組んでいきたいと思えます。

(きむらまりこ)